

広報あつぎ

熊本地震災害義援金

受け付け期間を延長します。

平成29年3月31日まで

募金箱は市役所、アミューあつぎ、総合福祉センターなどに設置。

閩福祉総務課 ☎225-2200

編集・発行 / 厚木市政策部広報戦略課
〒243-8511 神奈川県厚木市中町3-17-17
TEL.046-223-1511(代) FAX.046-223-9951
ホームページは

女子7人制ラグビー

中丸彩衣選手

見つめる先は
金メダル



中丸彩衣選手 (22)

愛甲小学校、森の里中学校出身。株式会社NTTファシリティーズ勤務、国内ラグビーチーム「アルカス熊谷」所属。ポジションはFW（フォワード）。9年間続けたバスケットボールからラグビーに競技転向し、競技歴5カ月で日本代表候補選手に召集。2015年に開催された「ARFUアジアパシフィックセブンス」大会などで日本代表として活躍している。

ラグビー日本代表の「桜」マークを胸に目標を語る中丸さん



自慢の脚力で相手選手をかわしトライを狙う

「オリンピック出場が目標。自信はある」。そう力強く話すのは、市内出身の女子ラグビー選手・中丸彩衣さん。今夏開催のリオデジャネイロオリンピックから正式競技となった女子7人制ラグビーで、日本代表（愛称・サクラセブンス）として出場を目指すアスリートだ。

現在、埼玉のクラブチームで活躍する中丸さんが、ラグビーと出会ったのは、わずか1年半前。大学で所属していたバスケットボール部のコーチから、スタミナと走力にラグビー選手としての素質を見いだされ、競技転向を勧められたのがきっかけだった。続けてきたバスケットへの思いから悩んだが、家族や仲間の後押しで、ラグビーの道に進むことを決意した。

「タックルやスクラムなど、激しい接触プレーは、バスケットにはない魅力」と、始めた当時は振り返る中丸さん。経験の少ない自分がチームの弱点だと感じ、悔しさをばねに練習に励んだ。持ち前の闘志と身体能力の高さを武器に力を付け、5カ月という早さで日本代表メンバーにまで駆け上がった。

「応援してくれる人がいるのは本当にうれしい。オリンピック出場の座を勝ち取って、故郷に金メダルを持って帰りたい」。オリンピックを見据えるその瞳は、闘志と自信に満ちあふれている。

《4・5面に関連の特集あり》

目次	2面 駅南口の再開発が始動 再開発事業が始まる本厚木駅南口。ビル建設や駅前広場の整備など、事業の内容を紹介しします。	3面 あつぎ起業スクール開講 起業のノウハウを一から学べる起業スクールを開講。プログラムの内容や受講者の声を紹介しします。	4・5面 ラグビーで広がる交流の輪 東京オリンピック・パラリンピックでニュージーランドのホストタウンとなった市の交流計画を紹介。	6・7面 タウンガイド 催し・講座・子育て・募集・お知らせなど、暮らしに役立つ便利な情報が満載。
----	---	--	---	---

こちらから

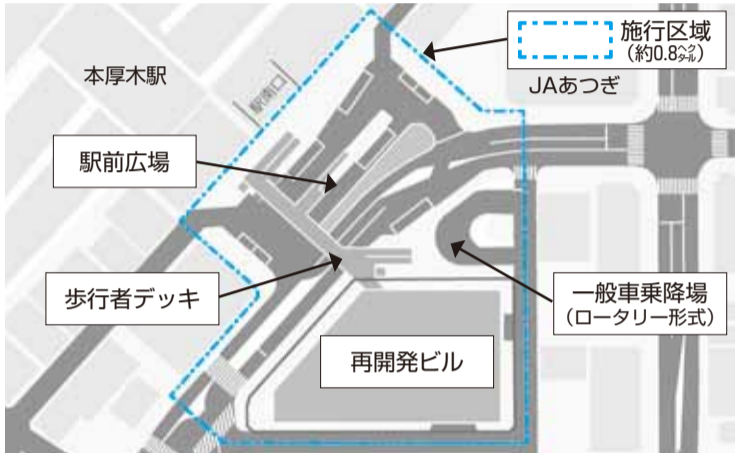


整備後の駅前広場（イメージ）

トピック まちづくり

にぎわいのある街の玄関口を目指して 駅南口の再開発が始動

本厚木駅南口の利便性を高め、快適でにぎわいのあるまちづくりを目指す、市街地再開発事業が本格的に始まります。再開発ビルの建設と、駅前広場の拡充整備を事業の柱に、魅力ある厚木の玄関口を目指します。



施行区域を示す整備計画の平面図

駅南口の正面に建設予定の再開発ビルは、地下2階、地上22階建ての高層ビルです。地下1階には約600台を収容できる市営の駐輪場を整備。1〜3階は商業施設や事務所など、4〜22階には約150戸の住居が入ります。駅前前の立地を生かした、複合的な機能を持つビルが建設されます。

駅前広場では、以前から歩行者やバス、タクシー、一般車の交錯などが課題となっていました。これらを解消するため、広場の拡充整備を実施します。限られたスペースを最大限に活用し、広場を約3400平方メートルから約4200平方メートルに拡張。新たに一般車乗降場

利用しやすい快適な駅前へ

小田急線本厚木駅南口を、より利用しやすい街の玄関口とする再開発事業がスタートします。5月27日に、事業を施行する本厚木駅南口地区市街地再開発組合の設立が認可され、6月17日には組合の設立総会を開催。商業・業務・居住の機能が一体となった再開発ビルの建設と、駅前広場の拡充に向け、いよいよ本格的に工事が始まります。



地下2階地上22階建ての再開発ビルを建設（イメージ）

851 本厚木駅南口再開発事務所 ☎225-1225

今回の再開発をきっかけに、さらなる駅周辺の土地利用が促進され、市街地に新たなにぎわいを呼び込む効果が期待されます。市では今後の再開発事業の着実な進行に向けて、積極的な支援をしていきます。

にぎわいのある街に

具体的な計画・工事は、施行者である市街地再開発組合が進めていきます。今年度から既存建築物の除却工事が始まり、来年度には建設工事に着手。平成31年度中の完成を目指しています。組合の理事長に就任した柳田光太郎さん（57・厚木町）は「再開発ビルは、これからの厚木のにぎわいと発展のシンボルになる。南口周辺は住居も多い地域なので、施行区域周辺の住環境にも配慮しながら整備を進めていきたい」と意気込みます。

31年度の完成に向けて

を設置します。併せて、バスや一般車の乗降場から駅までをつなぐ歩行者デッキを設置し、歩道を拡幅するなど、利用しやすい快適な駅前広場を目指します。

◆より効率的な行政運営のために◆ 外部評価に参加しよう

5人の外部評価委員と60人の外部評価モニターが、市の事業を「要改善」「現行どおり」「廃止」のいずれかに評価します。結果は事業の見直しに役立っています。

■どなたでも参加できます■

- ①モニター以外の方も、当日会場で傍聴・評価ができます。
- ②動画共有サイト「USTREAM」による生中継とネット投票も実施。市ホームページから参加できます。



一般公開で実施される外部評価

日程	時間	対象事業
7月30日(土)	13時～	防災備蓄品整備事業費
	14時～	バス利用促進等総合対策事業補助金
	15時～	里地里山保全等促進事業費
	16時～	年末年始公共施設の開放
7月31日(日)	13時～	地域児童クラブ育成支援事業補助金
	14時～	輝き厚木塾開設事業費
	15時～	中心市街地商店街空店舗対策事業補助金
	16時～	あつぎスポーツアカデミー推進事業補助金

《会場》あつぎ市民交流プラザ
☎当日直接会場へ。入退場自由。

☎行政経営課 ☎225-2160

ひとまち元気



受賞者の皆さんを前にしてあいさつ

厚木市長 小林 常良

「8020（ハチマルニイマル）運動」をご存じでしょうか。「80歳になっても20本以上の歯を保とう」という運動です。歯は20本以上あれば、ほとんど食べ物をかみ砕くことができ、おいしく食事ができるそうです。

この運動の一環である「高齢者よい歯のコンクール」の表彰式が6月5日に開催され、47人の方が表彰を受けました。歯が健康で、硬い食べ物でもしっかりとそしゃくできる皆さんは、胃腸の働きも活発なのでしょう。全員が明るい表情で、元気いっぱいなのが印象的でした。
8020運動の達成には、毎日の歯磨きが大切です。私もかかりつけの歯科医から指導を受け、普段から食後の歯磨きを心掛けています。私も表彰を受けられるまで10年程なので、皆さんみたいになれるよう頑張ります。
市では40歳以上や妊婦の方を対象に、歯科健康診査を実施しています。誰もがいつまでも生き生きと暮らせるよう、定期的な健診や効果的な歯磨きによる歯の健康づくりを、積極的に呼び掛けていきたいと思えます。

トピック 創業支援

起業の夢をがっちりサポート

あつぎ起業スクール開講

あつぎ起業スクールは、開業の手続きからビジネスプランの作成まで、起業に必要な幅広い知識を専門家から学び、経営者への夢を実現に近づける場です。市では、市内での起業を目指す方を応援し、地域経済の活性化につなげていきます。

就労機会の拡大や雇用機会の創出は、地域経済の発展に欠かせません。市では、市内で起業した方や起業を志す方をサポートするため、講座や相談体制の充実、補助金の給付など、さまざまな施策を実施しています。

充実したプログラム

起業を目指す方の第一歩となるべく開催するのが、あつぎ起業スクールです。これまでに256人が参加し、46人が起業を果たしました。スクールでは、経営者としての心構えや基礎知識など、起業に必要なノウ

ハウを一から学びます。講師は、中小企業診断士や税理士、経営コンサルタントなど、各分野の専門家。経営に欠かせない会計の仕組みや収支計画の立て方など、独学では習得が難しい知識も、初歩から丁寧に教えます。思いを分かち合える仲間に出会えるのもスクールの魅力の一つ。多くの受講者から「他の受講生の意見や考えを聞いて、起業への思いが一層強くなった」という声が寄せられています。

起業までを継続的にサポート

スクール修了後も、起業までの支援

夢に向かって

市では、起業を志す全ての皆さんを応援しています。この機会に、あなたも夢に向かって第一歩を踏み出してみませんか。

産業振興課 ☎225-2832



先輩起業家からの体験談なども聞ける



～受講者の声～ やりがいや達成感ひとしお

中町でレストランを開業した 関 健児さん (33・下荻野)

経営に必要な会計の考え方など、分かりやすく教えてもらいました。どのようなターゲットにどういう商売をしていくかといったプランを立てることで、漠然としていた起業へのイメージが固まりました。今は店が開業したばかりで大変なことも多いですが、起業しなければ分からなかったやりがいや達成感を実感しながら頑張っています。

受講生募集

【日時】 8月27日、9月3・10・17日、10月1・8日 (全6回)、13時～17時。

【会場】 厚木商工会議所

【内容】 経営者の心構え、マーケティング戦略、販路開拓、会計の仕組み、先輩起業家体験談、経営計画・収支計画の立て方、資金調達、ビジネスプランの作成・発表・講評など

【対象】 市内で起業予定・起業後原則1年以内で、全日程に参加できる方30人(受講動機が具体的な方や市内在住在勤在学の方を優先)

【受講料】 4000円

☎ハガキ、ファクスにて住所、氏名、年齢、電話番号、受講動機(50字以上)、志望業種、託児利用(無料)の有無を書き、8月5日(必着)までに〒243-8511産業振興課 ☎225-2832・☎223-7875へ。 ☎162174

厚木で働きたい 起業したい あなたを応援する市の支援



昨年度、35社が参加した合同就職説明会

起業したい

20代を中心とした若い世代への経営心得セミナー

将来、起業を考える学生や、独立を考える若い世代のサラリーマンに向けた経営心得セミナーを開催します。

【日時】 7月16日・30日(全2回)、13時～17時 【会場】 あつぎ市民交流プラザ

【内容】 起業するとはどういうことか、就職から独立までの流れ、先輩起業家からの体験談紹介

【対象】 市内在住在勤在学で市内での起業を希望し、両日参加できる18歳以上30歳以下の方20人(受講動機が具体的な方を優先)

【受講料】 無料

☎ハガキ、ファクスにて住所、氏名、年齢、電話番号、受講動機(50字以上)、志望業種を書き、7月7日(必着)までに〒243-8511産業振興課 ☎225-2832・☎223-7875へ。 ☎162175

働きたい

合同就職説明会

同時開催 合同就職説明会活用セミナー

市内の企業が事業内容を説明します。参加企業は、厚木商工会議所ホームページで公開しています。

【日時】 7月6日、13時～16時 【会場】 厚木商工会議所

【内容】 市内と近隣企業による就職説明会(会場内でカウンセラーによる個別相談あり)

【対象】 市内または周辺地域在住の39歳までの一般求職者。学生は平成29年3月卒業予定の方(高校生を除く)

☎当日直接会場へ。

☎厚木商工会議所 ☎221-2153

起業したい

創業者支援利子補給金

新たな創業者を応援するため、市内で開業し、一定の条件を満たす方に利子補給を実施します。

【対象】 ①市内で開業し営業を継続②日本政策金融公庫から創業に必要な融資を受けている③融資実行日の前後6カ月以内に開業④市税を完納一の全てを満たす方

【金額】 支払済利子(延滞に係る利子を除く)の2分の1(6カ月10万円を限度、1000円未満切り捨て)

【期間】 融資実行月から24カ月 ※平成25年4月1日以後の融資から適用

☎市ホームページからダウンロードした申請書に必要事項を書き、直接産業振興課 ☎225-2832へ。詳しくは市ホームページをご覧ください。



ピアースさん、ミルンさんを講師に招いて開催されたラグビー教室。厚木の子どもたちと交流を深めた



交流大使に任命されたミルンさん(同左)とピアースさん(写真右)

大使は、さまざまな交流事業への協力により、厚木市の魅力をNZの人々に発信する役割を担います。任命式でピアースさんは「今日を出発点とし、スポーツや文化交流などを通じて、オリンピック後も継続できる良い関係を築いていきたい」。ミルンさんは「素晴らしいおもてなしの心を持った厚木の文化をNZに伝えていきたい」と力強く抱負を語りました。

二人は、NZ・日本の両国のラグビー代表選手として、輝かしい実績を残したラグーマン。現在ピアースさんは、市内に活動拠点を置く栗田工業ラグビー部のヘッドコーチを務めています。3月にはNZ大使館を訪問した小林常良市長に同行し、マーク・シンクレアNZ特命全権大使との会談の仲立

始まりはラグビーから

地域の国際化や活性化、観光の振興を目指し、市は東京オリンピック・パラリンピック（以下五輪）のホストタウンへの登録に取り組みしてきました。1月に国から登録を受け、「キャンプ誘致」「スポーツ教室の開催」「歴史と文化の交流」「相互の留学」「食文化・農業交流」の五つを柱に据えた交流計画を策定（左下欄参照）。さらに、市とニュージーランド（以下NZ）との懸け橋となる「あつぎホストタウン交流大使」にNZ人のスコット・ピアースさん（52・戸室）とステファン・ミルンさん（50・NZ）を任命しました。

厚木市 ホストタウンへの道

平成27年6月 ミルンさんを通じてNZラグビーセブンズ関係者が市内を視察。
10月 東京五輪参加国であるNZを相手国に、ホストタウン第一次登録に申請。
平成28年1月 国が厚木市をNZのホストタウンとして登録。



3月 小林市長、NZ大使館のマーク・シンクレアNZ特命全権大使を訪問。
同月 ミルンさんを案内役として、市職員がNZ現地を視察。
5月 ピアースさんとミルンさんを「あつぎホストタウン交流大使」に任命。
同月 NZラグビー協会が市内施設を視察。ピアースさんとミルンさんも案内役を務める。



荻野運動公園のトレーニング室を視察するNZラグビー協会

厚木市の皆さんへ



練習に打ち込んだサクラファイフティーン候補選手
 厚木市は練習環境がとても整っていて、気持ちよく練習できました。市内の小・中学校を訪れたとき、子どもたちにくさんの応援メッセージや校歌をプレゼントしてもらい、本当にうれしくて感動しました。結果を残すことで、厚木市の皆さんに恩返ししていきたいです。
 サクラファイフティーン・キャプテン 田坂 藍



厚木小学校を訪れた田坂選手(写真左)たち

ホストタウンとして市が特に力を入れている柱の一つが、「キャンプ誘致」です。ラグビーチームにターゲットを定め、NZラグビー協会に太いパイプを持つ二人の協力を得ながら誘致活動を展開。「厚木のキャンプ地としての素晴らしさを伝えるなど、できる限りのことをしたい」と意気込むミルンさんを案内役に市職員も現地へ赴き、日本で開催されるラグビーワールドカップ2019にも含めたキャンプ誘致について、関係者に直接熱意を伝えました。

厚木市は、都心や富士山、箱根などの観光地へアクセスが良く、他の都市に比べてキャンプ地としての優位性を持ちます。厚木に住んで3年目になるピアースさんは「キャンプ地に訪れるのは選手だけではない。関係者や家族

キャンプ地としての厚木市の魅力

が厚木を楽しむのはもちろん、日本の観光地に出掛ける拠点としての役割もここなら果たせる」と外国人ならではの視点で厚木の魅力を語ります。さらに、豊かな自然や温泉、ゴルフ場が近場にあることも好条件の一つ。代表選手は常に「勝たなければならぬ」という重圧を抱えている。キャンプ地にはリフレッシュできる場所があることがとても重要。厚木は理想的だ」と、太鼓判を押します。

市は、まちの優位性を生かしたキャンプの誘致と同時に、キャンプの運営ノウハウの習得にも力を注いでいます。4月と5月には、女子15人制ラグビー日本代表（愛称・サクラファイフティーン）候補の強化合宿を日本ラグビーフットボール協会に働き掛け実現。選手やスタッフのニーズの把握に努めました。荻野運動公園で練習に励

第70回あつぎ鮎まつりに NZブース出店

NZの食文化に触れることをコンセプトに、男子ラグビー日本代表のリーチ・マイケル選手がオーナーを務め、NZ料理が楽しめるCafe+64が鮎まつりに出店。その他、NZのクッキーブランド「クッキータイム」などが味わえるブースを設置します。



NZの味を楽しもう

NZホストタウン 五つの柱

ホストタウンとは 2020年東京五輪の参加国の合宿誘致やスポーツ、文化、歴史、教育などさまざまな分野で交流事業を実施する自治体のこと。

その1 キャンプ

2019年に国内で初めて開催されるラグビーワールドカップや2020年の東京五輪で、NZチームの大会前のキャンプ誘致を目指します。

その2 スポーツ教室

国内外で活躍する選手によるスポーツ教室や、訪れたNZ国民と触れ合いながらお互いのスポーツ文化を学ぶイベントの開催を予定しています。

その3 歴史と文化

NZや先住民マオリ族の文化・歴史を学べる講座・教室を開催予定。交流の場を設け、お互いの文化や歴史を発信していきます。

その4 留学

多民族が住むNZからは、たくさんの文化を学べます。2017年には、オタゴ州の高校生と交流事業を予定しています。

その5 食文化・農業

飲食店やホテル、関連企業と協力し、チーズやワイン、ラム肉料理、クッキーなどNZの食を味わえる催しを計画していきます。

環境の整備、観光ガイドの充実など、

真のホストタウンを目指して

ラグビーを中心に、ホストタウン計画の実現に動き出している一方、ピアースさんは「ラグビーだけでは交流は長続きしない。市民や企業レベルでの交流こそが重要だ」と指摘します。そのためには、街中や観光地の外国語表記の標識や案内板、インターネット環境の整備、観光ガイドの充実など、

外国人にも過ごしやすいまちづくりが求められます。さらにピアースさんは「街で困っている外国人を見つけたら、臆せず声を掛けてあげてほしい」と市民の皆さんにも協力を呼びかけます。国際交流は、外国人と触れ合い、異文化を学び、吸収し合うことで、自らの文化を見つめ直せる広い視野を持つ人材を育てます。そうしたい人材は、将来世界を舞台に活躍できる可能性を広げます。市は、こうしたホストタウンとしての真の狙いの実現に向け、4年後に開催される東京五輪、さらにその先の未来を見据えた取り組みを進めていきます。



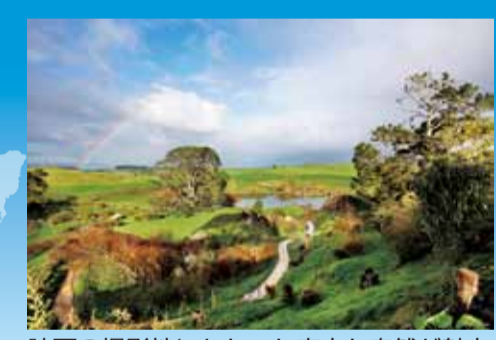
強化合宿ではキャンプ地として高い評価を得た



交流事業を通して絆を深める

ニュージーランド NZ こんなところ

- 首都** ウェリントン
- 面積** 27万534平方キロメートル
- 人口** 約424万人
- 人種** マオリ系、ヨーロッパ系、ポリネシア系、アジア系など世界でも類を見ない多民族国家
- 気候** オーストラリアの東に位置し、一年を通して温暖な気候
- 産業** 農業、特に酪農・畜産が盛ん



映画の撮影地にもなった広大な自然が魅力



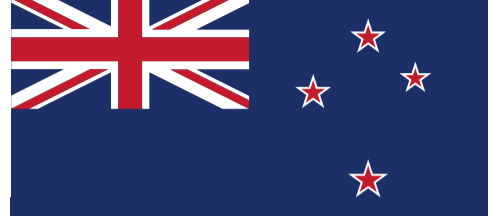
オークランドの夜景はまさに絶景



マオリ族の伝統舞踊「ハカ」はオールブラックスが試合前に踊ることで有名な

観光 国内最大都市のオークランドの夜景、映画のロケ地にもなることが多い雄大な自然に囲まれたクイーンズタウンが人気。スカイダイビングやラフティング、冬にはスキーやスノーボードが楽しめる
ラグビー 世界屈指のラグビー強豪チーム「NZ代表オールブラックス」の人気が高く、国民の誰もが親しむスポーツとして根付いている

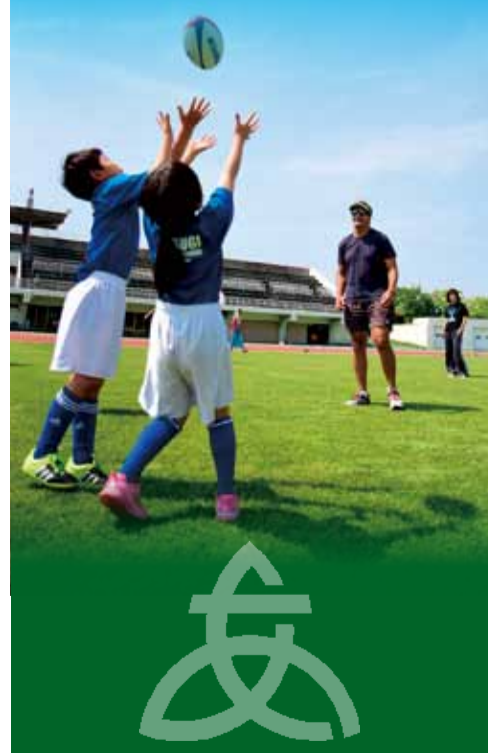
特集 国際交流



世界とつながるホストタウン

ラグビーで広がる交流の輪

この1月、厚木市は東京オリンピック・パラリンピックの参加国と交流するホストタウンに登録されました。相手国はニュージーランド。ニュージーランドラグビーチームのキャンプ誘致を目指すとともに、ラグビーをきっかけにスポーツ、文化、教育など、さまざまな分野で交流の輪を広げていきます。



交流の輪

夜間コース = 8月20日、18時30分～21時《**食べ方セミナー**》午前コース = 9月12日、10時～12時。夜間コース = 9月10日、18時30分～20時30分《**ヘルスアップセミナー**》午前コース = 10月31日、10時～12時。夜間コース = 10月29日、18時30分～20時30分《**卒業セミナー**》午前コース = 12月5日、10時～11時30分。夜間コース = 12月3日、18時30分～20時《**内容**》スポーツジムを利用して健康的に減量を目指す《**対象**》市内在住の昭和26年4月2日～昭和52年4月1日生まれで、介護保険サービスを利用していない方30人。ただし、肥満度25.0（体重kg÷身長m÷身長m）以上の方《**費用**》1カ月3000円。

いずれも会場はあつぎ市民交流プラザなど。7月22日までに健康づくり課☎225-2201へ。抽選。◎10

運動不足解消講座「日常ながら運動」

7月27日、13時30分～15時30分。あつぎ市民交流プラザ。時間が無い、きつい運動が嫌いな方向けの講座。市内在住の方80人。無料。7月4日から健康づくり課☎225-2201へ。先着順。◎10

市史歴史講演会

7月17日、14時～16時。あつぎ市民交流プラザ。「経済的拠点としての江戸時代の厚木」がテーマの講演会。定員100人。無料。当日直接会場へ。先着順。文化財保護課☎225-2060。152588◎1

博物館・文化財講座

①7月24日②7月30日、13時30分～14時30分。郷土資料館。①「博物館展示とユニバーサルデザイン」②「古建築と博物館」をテーマに大学教授が講演。定員30人。無料。当日直接会場へ。郷土資料館☎225-2515。◎1

ハートピア会員募集

ハートピアでは勤労者のための福利厚生事業を実施しています。《**対象**》市内企業の従業員・事業主・パートの方など（市内在住

の勤労者は、個人会員として加入できます）《**特典**》各種慶弔給付金制度や福利厚生事業の利用《**会費**》1人月額600円。☎勤労者福祉サービスセンター☎206-4151。

心身障害者医療証送付用封筒への広告主を募集

心身障害者医療費助成対象者に送る窓付き封筒の広告主を募集します。

《**発送枚数**》約4000枚《**募集期間**》7月1日～15日《**対象**》市内に事業所がある事業者。詳しくは市ホームページをご覧ください。障がい福祉課☎225-2221。抽選。362007

「Aloha E Komo Mailぼうさいの丘公園」の出場・出店者を募集

9月24日（雨天の場合は25日）、11時～14時。ぼうさいの丘公園（温水783-1）。フラダンス出場者 = 市内で活動する20団体。1組10分程度（2曲まで）。無料。フリーマーケット出店者 = 市内在住の方30店舗（中学生以下は不可）。出店料1000円。ハガキに催し名（フラダンスはチーム名と参加人数、曲名、フリーマーケットは出店内容）、〒住所、代表者氏名（ふりがな）、年齢、電話番号を書き、7月31日（消印有効）までに〒243-0036長谷626-1環境みどり公社☎225-2774へ。抽選。

県立職業技術校10月生募集

東部総合職業技術校 = 工業技術分野（機械CADなど）、建築技術分野（庭園管理サービスなど）、社会サービス分野（給食調理など）。西部総合職業技術校 = 工業技術分野（溶接・板金など）、建築技術分野（建築CADなど）、社会サービス分野（介護調理など）。《**対象**》知識、技術・技能を習得して、就職する意思がある方《**授業料**》無料《**選考日**》8月28日《**募集案内**》各校・ハローワークで配布（県ホームページからもダウンロード可）。7月14日～8月12日にハローワークで手続きし、必要資料を直接または郵送で、各校へ。県産業人材課☎045-210-5715。

あつぎ 元気Wave 7月の広報番組 **ガイド**

7月1日～15日 ◆夏のレジャーに黄信号
消防隊員が熱中症や水の事故の対処法を紹介します

放送時間(15分) ①12時～②19時30分～③22時45分～ ※内容や時間を変更する場合があります。

番組はホームページ動画配信 あつぎ元気Wave 検索 CATV放送開始後に配信

後期高齢者医療制度の保険証が新しくなります

現在の保険証（水色・上部に青い帯）の有効期限は、7月31日です。対象者には、7月末までに新しい保険証を書留で郵送します。8月になっても保険証が届かない場合は、お問い合わせください。国保年金課☎225-2223。

高齢者向け給付金の締切りが迫っています

高齢者向け給付金の申請受け付けが、7月29日で終了となります。期間を過ぎると、給付金を受け取ることができません。対象となる方へは申請書を郵送していますので、申請されていない方は、申請書に署名・押印し、必要書類（健康保険証、振込先口座の通帳のコピーなど）を添えて、臨時福祉給付金担当まで提出してください。《**対象**》昭和27年4月1日以前に生まれた方のうち、平成27年度分市民税（均等割）が課税されない方（課税されている方の扶養親族や生活保護受給者などを除く）《**支給額**》1人3万円。給付金コールセンター☎225-2766。

《**対象**》昭和27年4月1日以前に生まれた方のうち、平成27年度分市民税（均等割）が課税されない方（課税されている方の扶養親族や生活保護受給者などを除く）《**支給額**》1人3万円。給付金コールセンター☎225-2766。

国民年金保険料の免除と納付猶予制度

経済的な理由などで納付が困難な場合、所得要件などを審査した上で保険料の全額または一部を免除します。

《**免除制度**》全額免除と3段階（4分の1、半額、4分の3）の一部納付があります《**納付猶予制度**》7月1日からは、対象年齢が30歳未満から50歳未満の方まで引き上げられ、保険料納付が猶予されます《**対象期間**》平成28年7月以降の分

は、7月1日から申請できます。過去分は、申請日から2年1カ月前の分が対象です。年金手帳を持ち、直接国保年金課☎225-2121へ。代理申請の場合は印鑑が必要です。失業などの理由で申請する場合は、雇用保険受給資格者証または雇用保険被保険者離職票などをお持ちください。

市民満足度調査に協力を

市総合計画「あつぎ元気プラン」の進行管理の基礎資料とするため市民満足度調査を実施します。対象者には7月上旬に調査票を郵送しますのでご協力をお願いします。《**対象**》市内在住の18歳以上の方4000人（無作為抽出）《**内容**》子育て、福祉、市民生活、教育、環境、まちづくりなどのアンケート調査。結果は広報あつぎや市ホームページなどで公表予定。企画政策課☎225-2455。

国民健康保険データヘルス計画を策定

特定健康診査の結果や医療データを活用して、生活習慣病などの早期発見や重症化予防事業を実施する計画を策定しました。計画の詳細は、市ホームページや市政情報コーナーをご覧ください。国保年金課☎225-2120。

7月は「社会を明るくする運動」強化月間

犯罪や非行のない明るい社会を築くため、各地区で街頭啓発活動を実施します。福祉総務課☎225-2200。

あつぎ健康相談ダイヤル24
さわやか1番 よいこころ
☎0120-31-4156

戦争や平和に対する思いを絵や文でつづる

平和へのメッセージを募集

戦争と平和について広く考えてもらうため、メッセージを募集します。メッセージは展示後、市で発送します。

《**提出方法**》福祉総務課や公民館などにあるハガキまたは官製ハガキに、戦争や平和への思いを描いた絵や文と、思いを共有したい人の宛名を書き、7月8日（消印有効）までに直接、〒243-8511福祉総務課または各公民館などへ。宛名面以外には、個人情報記載しないでください。《**展示**》8月5日～8日にあつぎアートギャラリー（アミューあつぎ）で展示。その後発送し、8月15日までに届けます。

昨年提出されたメッセージの例

☎福祉総務課☎225-2200

編集後記

リオデジャネイロ五輪まで約1カ月。世界各国で五輪ムードが高まる中、国内では、東京五輪に向けた動きも活発化しています。今回、中丸選手やピアースさん、ミルンさんに取材をし、五輪にはたくさんの夢が詰まっていることを感じました。同時に皆さんが語る力強い言葉や熱のこもった瞳から「夢を夢で終わらせない」という意志も伝わってきました。

市は、ニュージーランドのホストタウンとして、東京五輪後も続いていく交流を見据えた取り組みを始めています。私も積極的に交流し、より良い関係を築いていきたいです。（野本）

広告

サマージャンポ宝くじ

1等・前後賞合わせて **7億円**

〈発売期間〉
7/6(金)～7/29(金)
〈抽せん日〉
8/9(火)

1等/5億円 前後賞/各1億円

サマージャンポ3 7000万

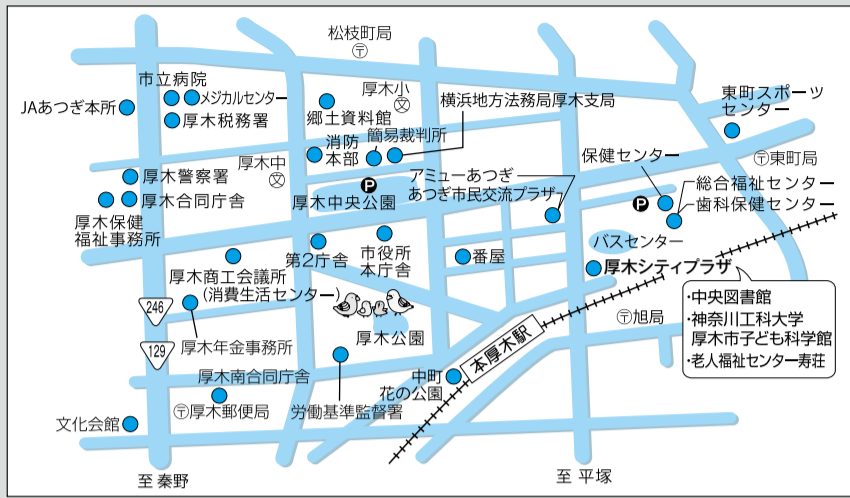
と同時発売

宝くじ売り場等に関するお問い合わせ ☎03-3535-9085

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

公益財団法人 神奈川県市町村振興協会

タウンガイド



7月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8月						
日	月	火	水	木	金	土
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

マイタウンクラブ

①印の番号で、ウェブ上から詳しい情報がご覧いただけます。「①②」と記されたものは、申し込みもできます。
www.mytownclub.com

Gポイント

①印は、あゆこちゃんGENKIポイント「Gポイント」の対象事業です。数字分のポイントが付与されます。

アミューあつぎ アコースティックライブ

7月17日、11時30分～15時。アミューあつぎ9階。若手ミュージシャンによるライブ。料金、出演者はお問い合わせください。①当日直接会場へ。ライブの合間に上映する短編自主制作映画も募集中。②商業にぎわい課 ☎225-2834。③G1

あつぎ青春劇場

①7月2日、15時～16時。唄う！青春劇場カラオケ大会（ゲスト・井上まり子）②7月23日、11時～12時30分。あつぎ青春劇場落語会（出演・林家ひろ木）。いずれも会場はアミューあつぎ9階。定員100人。500円。③当日直接会場へ。先着順。④商業にぎわい課 ☎225-2834。⑤G1

第2回天体観察会～月～

9月16日、18時30分～20時30分。七沢自然ふれあいセンター（七沢2440）。天体望遠鏡で月を観察。小学生以上の方40人（中学生以下

は保護者同伴）。無料。③直接、電話またはファクスに催し名、〒住所、氏名（ふりがな）、性別、年齢、電話番号を書き、9月2日までに七沢自然ふれあいセンター ☎248-3500・FAX248-4708へ。抽選。④162068

「ボルカホン」ワークショップ

8月20日、10時30分～12時。あつぎ市民交流プラザ。ダンボールでカホン（打楽器）を作り、演奏を楽しむ。作品（ボルカホン）は持ち帰れます。市内在住在勤在学の方10人（小学生以下は保護者と参加）。1200円。③電話またはファクスに講座名、〒住所、氏名、年齢、電話・ファクス番号を書き、7月15日までに勤労者福祉サービスセンター ☎206-4151・FAX206-4611へ。抽選。④600298

体育協会のスポーツ教室

■初心者ボウリング教室
7月30・31日（全2回）、10時30分～12時30分。厚木ツマダボウル（妻田北1-11-14）。市内在住在勤在学の小学生以上の方30人。1500

円。④162067

■夏休み初心者剣道教室

8月2日～5日（全4回）、9時～11時。東町スポーツセンター。市内在住在勤在学の小学生以上の方20人。1000円。④162080

いずれも内容は基礎技術の講習。③ハガキ、ファクスに教室名、〒住所、氏名（ふりがな）、年齢（学年）、電話番号を書き、7月15日（必着）までに〒243-0039温水西1-27-1体育協会 ☎247-7212・FAX248-7151へ。抽選。⑤G1

■応急手当普及員講習会

8月2日～4日（全3回）、9時～17時。陸合分署（三田1475-1）。事業所や地域などで応急手当てを教えられる「応急手当普及員」の資格を取得。市内在住在勤在学の18歳以上の方30人。3672円（テキスト代）。③7月11日までに救急救命課 ☎223-9365へ。抽選。④152851⑤G10

■応急手当講習会小学生対象救命入門コース

7月23日、10時～11時30分。消防本部。応急手当て、心肺蘇生、自動体外式除細動器（AED）の取り扱いなどを学ぶ。市内在住の小学4～6年生30人（親子の参加も可）。無料。③7月11日までに救急救命課 ☎223-9365へ。抽選。④152850

■あつぎ協働大学公開講座

①9月17日、10時～12時。ソニー（株）厚木テクノロジーセンター「企業の発展と社会的責任（CSR／環境への取り組み）」②11月19日、10時～12時。（株）レンブラントホテル厚木「観光立国実現に向けた宿泊施設の使命と進化」③12月17日、10時～12時。日産自動車（株）「将来の自動車技術開発の方向性について」。いずれも会場はあつぎ市民交流プラザ。内容は、市内の企業で働く方を講師に、最先端の知識や技術、仕事への取り組み方などを学ぶ。定員各回50人。無料。③①8月12日②10月14日③11月11日（各必着）までに、電話またはハガキ、ファクスに講座名、〒住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号を書

き、〒243-8511文化生涯学習課 ☎225-2512・FAX225-3130へ。抽選。①④162165②④162168③④162169⑤G1

健康あつぎ推進リーダーの健康講座

①7月20日、10時～11時30分。南毛利公民館（温水西1-17-1）。8020健口体操（口の体操）や食の講座、骨健康度の測定など②7月25日、10時～11時30分。厚木北公民館（元町9-4）。ウォーキング講座、8020健口体操、骨盤体操、骨健康度の測定など。

いずれも定員は各回30人。無料。③7月1日から電話で健康づくり課 ☎225-2201へ。先着順。④G10

■骨粗しょう症検診

8月25～27日、9時～16時（30分程度）。あつぎ市民交流プラザ。骨密度測定（25日は歯科衛生士による健康相談、26・27日は保健師や管理栄養士による個別相談も実施）。市内在住の30歳以上の女性で、現在骨粗しょう症の治療を受けていない方400人。800円。③ハガキに検診名、〒住所、氏名、生年月日、年齢、電話番号、希望日（午前・午後）を書き、7月15日（消印有効）までに〒243-8511健康づくり課 ☎225-2201へ。抽選。⑤G15

健康づくり課Presents フィットネス・プログラム

■Aコース「TEAMキラリ☆4期生」《オリエンテーション》9月13日、9時30分～11時30分《食べ方セミナー》10月25日、10時～12時《卒業セミナー》12月15日、10時～12時《運動日》9月20・26・29日、10月5・13・20・27日、11月1・10・17・24・29日、12月1・8日（全14回）、9時30分～11時30分《内容》ヨガ、フラダンス、ピラティスなどで健康的な体をつくる《対象》市内在住の昭和41年4月2日～昭和52年4月1日生まれで、介護保険サービスを利用していない女性30人《費用》無料。託児あり。
■Bコース「ATSUGIダイエット部2016」《オリエンテーション》午前コース＝8月23日、10時～12時30分。

歴史ある伝統の踊りを伝え続ける 第40回 相模ささら踊り大会

ささら踊りは、竹で作った「ささら」を持ち、太鼓と唄に合わせて踊る無形民俗文化財です。県内6市8団体の保存会が一堂に会する大会に、ぜひご来場ください。



江戸時代から伝わる郷土芸能

入場無料
日時 7月27日 13時30分～
会場 荻野運動公園（中荻野1500）
出演 愛甲・長谷ささら踊り盆唄保存会、相模国飯山白龍太鼓保存会ほか

③当日直接会場へ。④G1

文化財保護課 ☎225-2509

あつぎ市民芸術文化祭「第54回市民文化祭」 芸能音楽発表会の出演者を募集

催し	発表日	問い合わせ
歌踊・ダンス	10月23日	望月 ☎228-7289
歌謡演歌	10月28日	横尾 ☎225-0870
詩吟	10月29日	井内 ☎247-8043
剣詩舞		牧田 ☎228-0771
民謡	10月30日	立脇 ☎220-0456
日舞		山本 ☎241-5609
義太夫		宇津木 ☎247-3025
箏曲	11月3日	小瀬村 ☎247-0066
謡曲		柘野 ☎248-0081
音楽発表会		飯塚 ☎291-1787

会場 文化会館



③文化生涯学習課や公民館などにある申込案内（市ホームページからダウンロード可）を確認し、7月29日（音楽発表会は11日）までに各問い合わせ先へ。抽選。

文化生涯学習課 ☎225-2508

厚木市の人口 (6月1日現在)

人口 22万5398人
(男11万6509人、女10万8889人)
—前月比194人増—

●65歳以上=5万2630人
(男2万4597人、女2万8033人)

●外国人市民=6072人
(男3050人、女3022人)

※65歳以上と外国人市民は、住民基本台帳による

世帯数 9万6768世帯
—前月比218世帯増—



子育て支援をさらに充実

放課後児童クラブの拡充

市では、就労などを理由に保護者が昼間家庭にいない小学生に対し、放課後の遊びや生活の場を提供する「放課後児童クラブ」を23カ所で運営しています。

平成28年度から、夏休み期間中の受け入れもスタート。学区内のクラブが定員に達し入所できない場合は、玉川・相川・戸室の3カ所のクラブで受け入れを実施するなど、待機児童ゼロを目指した取り組みを進めています。

拡充ポイント

開所時間の延長

- 平日18時30分まで→19時まで
- 土曜、夏休みなど8時30分から→7時30分から

対象学年の拡大

原則小学3年生まで→全学年

受け入れ児童数の拡大

1327人→1358人

働く保護者の強い味方なんだ Boo~!!



クラブでは集団生活の決まりなどを学べる

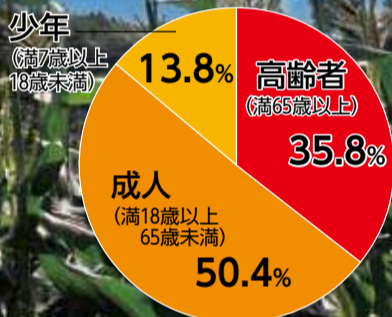
問こども育成課 ☎225-2582

夏の日差しに 要注意

熱中症を未然に防ごう

7月は熱中症予防強化月間です。予防には、小まめな水分補給と暑さを避けることが大切です。正しい知識を身に付けて熱中症を防ぎましょう。

市内の熱中症救急搬送状況 (平成27年)



あなたは大丈夫?

3つの予防ポイント

喉が渇いていないから大丈夫?

室内でも屋外でも、喉の渇きを感じていなくても、小まめに水分を補給しましょう。予防に必要な塩分も併せて補給できるイオン飲料や経口補水液がおすすめです。

暑さに強いから大丈夫?

暑さに慣れていても、外出や運動をする場合は要注意。帽子や日傘、涼しい服装で直射日光と暑さを避け、建物内や日陰などで適度に休憩をとりましょう。

部屋の中だから大丈夫?

室内や夜間でも、熱中症は多く発生しています。風通しを良くし、必要に応じてエアコンなどを活用しましょう。

あつぎ 元気Wave
CATV 7/1~放送
予防や対策を紹介

問健康医療課 ☎225-2174

県下最大級、約1万発の花火を間近で!

あつぎ 元気Wave
CATV 7/1~放送
花火の見どころを紹介

あつぎ鮎まつり大花火大会

有料観覧席のチケット販売開始



販売日 7月1日 10時~
販売場所 セブン-イレブン全店

販売価格
《厚木側》2人席6000円 4人席1万円
《海老名側》2人席5000円 3人席6500円
4人席8000円 5人席9500円

開催日時 8月6日(土)19時~
※荒天の場合は翌日順延

会場 相模川三川合流点河川敷

問観光振興課 ☎225-2820

「広報あつぎ」では、自主財源確保のため広告掲載事業を実施しています。広告掲載の申し込みは(株)横浜メディアアド ☎045-450-1804へ。